

第3回萱町・水上ビル
ストリートデザインワークショップ
の報告です



萱町通りと水上ビル（北側）の魅力づくりを地域みなさんで考えるためのワークショップを開催しています。（全プログラムは裏表紙をご参照ください。）
この通信では、第3回の様子をお届けします。

<第3回ワークショップテーマ>

みちづくりの基本計画を吟味しよう(1)



水上ビル（北側）... 2p、4p～5p

10月17日（月）19時から、第3回水上ビル（北側）のストリートデザインワークショップが開催されました（会場 | こども未来館ここにこ）。沿道の事業者やお住まいの方をはじめとして約30名弱が集まり、これまでの議論をもとにつくられた計画案について議論をしました。計画のコンセプトについては共感が集まりましたが、ゾーニングの考え方については改善すべき点が多く出され、今後のデザイン具体化のためのポイントが明確になりました。

萱町通り ... 3p、6p～7p

10月29日（土）14時から、第3回萱町通りのストリートデザインワークショップが開催されました（会場 | 新本町会館）。萱町通りにお住まいの方、関心のある豊橋の方、学生、専門家、行政職員など立場の違う約20名が集まりました。これまでの議論をもとにつくられた3つの計画案を参照しながらまち歩きをし、話し合うことで、整備の方向性を1つの案に絞ることができました。合わせて、今後のデザイン具体化に向けた方向性が固まってきました。

今回のWSで整理されたデザイン方針の考え方や具体化に向けたポイントはストリートデザインの具体検討に活かされます。

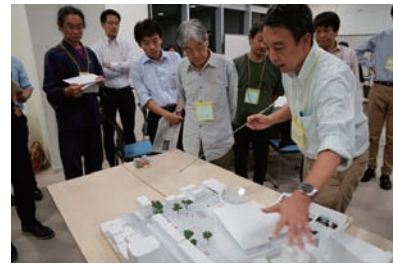
水上ビル（北側） 第3回ワークショップのすすめ方

水上ビルの当日の流れ >>>>>



1) コンセプトの提案（「広場をとりこむ、緑と水のプロムナード」）

>>>



2) 計画案の説明

>>>



3) コンセプトについての共感度を確認



4) グループに分かれ詳細な計画案の説明

>>>

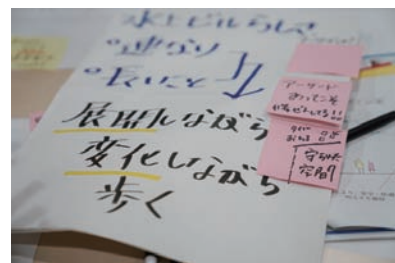


5) 模型と小型カメラで実際の見え方を確認

>>>



6) 計画案についてグループ討論「水上ビルらしさ」って何だろう？



7) 計画の改善に向け、さらにグループ討論

>>>



8) 討議結果の発表①“水上ビルの連続性や統一感も大事にしたい”

>>>



9) 討議結果の発表②“10年、20年後に完成するプロセスを！”

水上ビル（北側）のワークショップまとめ



コンセプトや基本的なデザイン方針の改善に向けて

- ・水上ビルの連続性や回遊性をもっと大事に
- ・広場を取り込むことは共感。みちと広場が一体的になる空間に
- ・車社会の変化や水上ビルなど沿道の行く末を織り込んだかたちに



デザインの具体化に向けて

- ・区間ごとの沿道や雰囲気の違いを織り込んだ設えに
- ・場の魅力を引き出す照明や植栽のデザインを
- ・豊かな使い方って何があるんだろう？具体的なイメージを深めたい

萱町通り 第3回ワークショップのすすめ方

萱町通りの当日の流れ >>>>>



1) 3つの計画案の提示

>>>



2) 提案の良いところや課題を検証するまち歩きに出発！

>>>



3) 幅員をメジャーではかり、計画案のイメージを確認



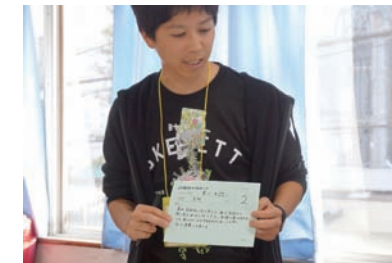
4) 自転車で段差や擦り付けの確認

>>>



5) 参加できなかった沿道の方にインタビュー

>>>



6) 会場に戻ってグループワーク。提示された3案のどれが良いかお互い発表し合います



7) 討議結果の発表①“メリハリのあつ植栽配置を！”

>>>



8) 討議結果の発表②“フラットにしたときの豊かな使い方を”

萱町通りのワークショップまとめ



コンセプトや基本的なデザイン方針の改善に向けて

- ・3つの案のうち歩道が広くとれるフラット案に共感！でも安心感も考慮して
- ・せっかく成長してきた高木。維持管理とのバランスを考えた配置に
- ・様々なスピードの自転車。共存と分離の良いかたちを探りたい



デザインの具体化に向けて

- ・上品かつ親しみやすい舗装、落ち着いた雰囲気のある照明を
- ・高木・植栽帯だけでなく、みんなで守り育てられる植栽に
- ・安心して歩道でくつろげる、でもすっきりとした安全施設の工夫を

水上ビル 計画素案を吟味しよう

まずはじめに、これまでの議論をもとに計画案のコンセプトと基本的なゾーニング案がたたき台として提示されました。グループワークでは、このたたき台を元に議論をすすめ、次回にむけた検討課題を整理しました。

当日提示された計画素案

●大事にしたいコンセプト

広場を取りこむ、緑と水のプロムナード

- 1 水上ビルらしさと新しさが入り混じる通り
- 2 まちなか広場を取り込む賑わいの形成
- 3 時間による変化を考えた通りのデザイン（沿道・営み）

●デザイン案の基本的な考え方

これをたたき台にご意見お聞かせください！

黒島さん（大日本
コンサルタント）からの説明



	区間1	区間2	区間3	区間2	区間1
歩道幅	水上ビル側 1m 拡幅	水上ビル側 2m 拡幅	水上ビル側 2m 拡幅	水上ビル側 2m 拡幅	水上ビル側 1m 拡幅
舗装	水上ビル側 更新	水上ビル側 更新	歩車道で 統一	水上ビル側 更新	水上ビル側 更新
車道の状況	幅員5m	幅員4m	幅員4m+舗装	幅員4m	幅員5m
みどり	北側：既存樹木 水上：プランター等	北側：既存+α 水上：プランター等	広場と一体的な みどり配置	北側：既存+α 水上：プランター等	北側：既存樹木 水上：プランター等

今後の検討課題

“水上ビルらしさ”とは？

「水上ビルらしく全体の連なりを感じられるようにしたい」「アーケードの残し方が水上ビルらしさの表現には重要」「通りの連続性のためには水上ビル側の歩道も横断できるように」等の意見がありました。

通りの連続性を活かす視点が必要

“回遊性”の視点を！

PLATと駅とのつながりをつくることに共感が寄せられました。また、「萱町通りへのつながりを充分に考える必要がある」等の指摘もありました。

回遊性を向上させるデザイン

道路幅員など

「通りとしての連続性を考えるとき、全区間2m拡幅のほうが良い」という意見がありました。「歩道を拡幅しても、アーケードの支柱が残ってしまうのはどうか」という心配の意見もありました。

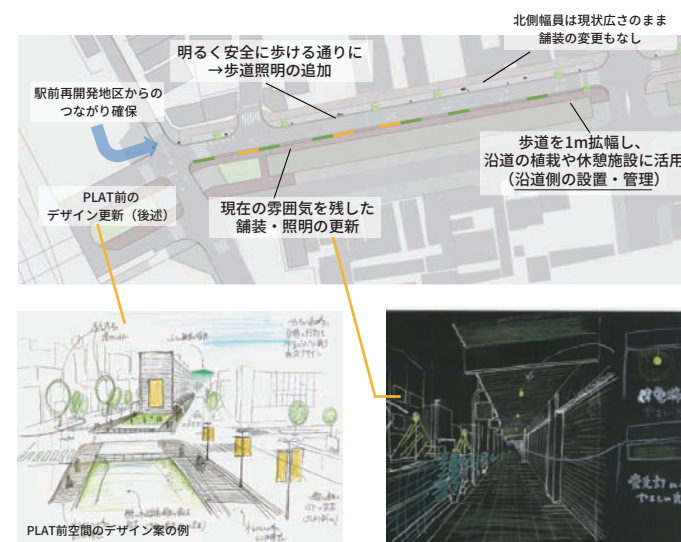
歩道幅員の見直しと使い方

植栽や照明

植栽配置については、「メリハリをつけた配置」「ムクドリ被害の心配」「維持管理の在り方」への意見が出されました。照明については、「フットライトなど雰囲気ある照明を」などの意見が出されました。

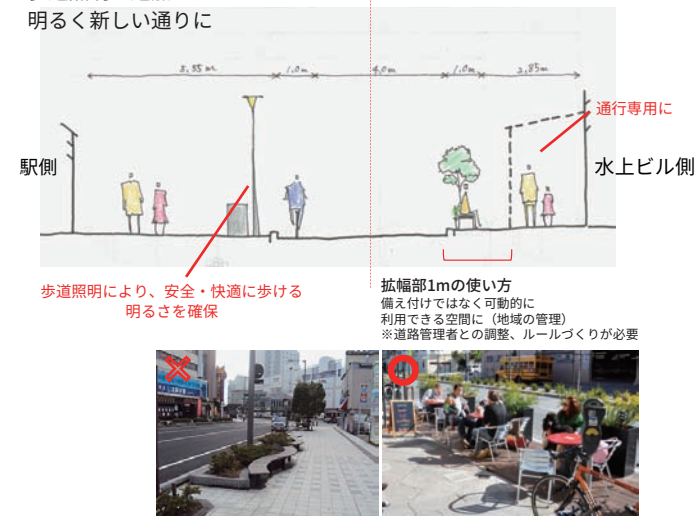
イメージ作りに向けた植栽と照明のデザイン

- ・区間1は交通量も多く、一定の交通機能の確保が必要
 - ・南側は水上ビルの通りの雰囲気が、北側は駅前から連なる明るい通り
- 水上ビル側：歩道を1m拡幅し、現在の雰囲気を残した舗装・照明
北側は駅前などの繋がりから、より快適・安全な空間に



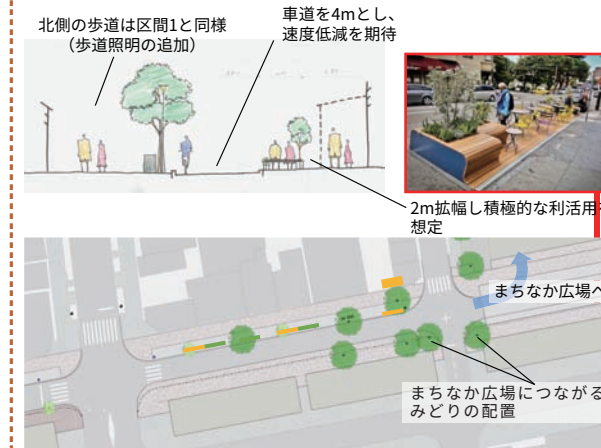
区間1

北側：
歩道照明を追加し、
明るく新しい通りに



区間2

- ・区間1と広場をつなぐ空間
→水上ビルの歩道を2m拡幅
- ・区間1よりも、より滞留や休憩のために
自由に使えるスペースに



“広場を取りこむ”に共感

「回遊性の向上が期待できる」等、広場を取りこむことには多くの共感が寄せられました。そのうえで、「フラットな道で歩行者の安全性確保できるか心配。」「再開発計画の搬出入口があり、人が優先の道が可能か？」「沿道事業者にとって、荷捌きが不便にならないか。」などデザインの具体化に関する意見がありました。

広場・沿道・通りの一体性のデザイン

“時間の変化”に対応

「水上ビル等沿道の変化に対応できる通りのデザインとは？」「車社会の変化も予測するべき」等の意見がありました。

20年先を見こしたプロセスデザイン

豊かな使い方のために

豊かな使い方には共感が集まりましたが、地域管理のしくみについてはイメージがつきにくい、という意見もあり、「道路の使い方の先進事例を知りたい」などの要望がありました。

道路利活用に向けた地域のしくみづくり

- まとめ！
- す ステキな緑と水のプロムナード、広場も取り込む
 - こ こいびと達が引きつけられる程の歩いて楽しい歩車道ふらっとな道
 - や ヤングもジジイも気になる水上ビルらしさをどう生かすか
 - か 管理かんりをよけいなものと扱わずに、使い方とあわせて楽しもう
 - な なんというても時間の変化を反映した20年先に向かうプロセスデザイン
 - ば 場の魅力にド迫力を与える照明や植栽の工夫
 - し 仕方なく起こるうっとうしいリスクの予測を（野鳥の生態など）
 - よ より良いハードのために愛着管理を育む仕掛けを

→「健やかな場所（としての）水上（ビル）通り」となりました



萱町通り 計画素案を吟味しよう

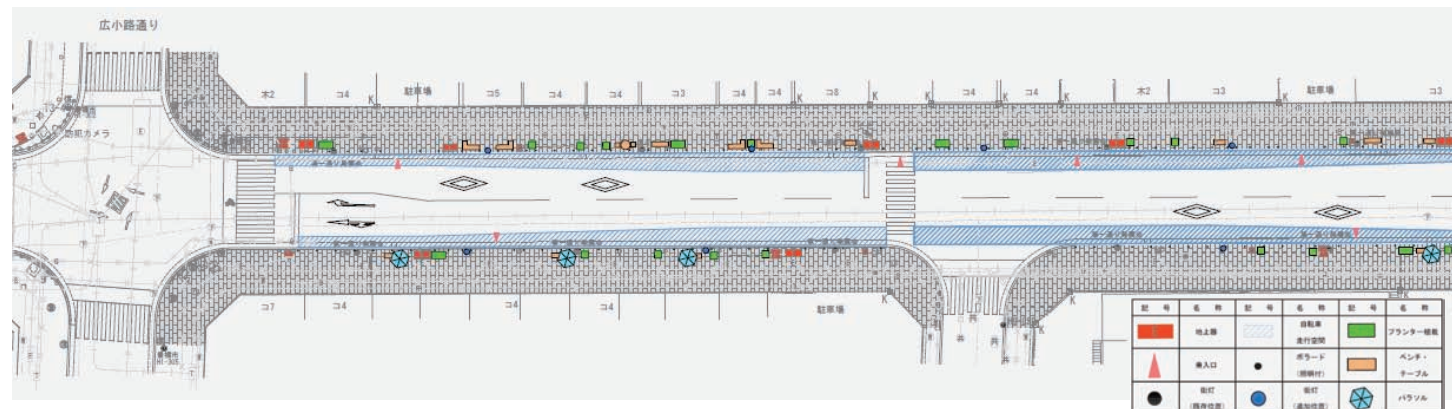
まずはじめに、これまでの議論をもとにコンセプトと3つの計画案が提示され、計画案の詳しい話を聞きながらまち歩きをしました。グループワークでは、それぞれの案の良い点や課題、具体化に向けたポイントを整理しました。

当日提示された計画素案

●大事にしたいコンセプト

地域の誇りが上品に薫るストリート

- 1 豊橋の中心市街地で最も品が良いと言われる、**上品な**まちづくりを目指すこと
- 2 限られた道路空間の中で歩行者、自転車、自動車の**通行にそれぞれ配慮**が図られること



案1

自転車の通行場所を車道に移した案。植栽帯の整理を行い、歩道上で休憩や駐輪の出来る場所を整備します。

案2

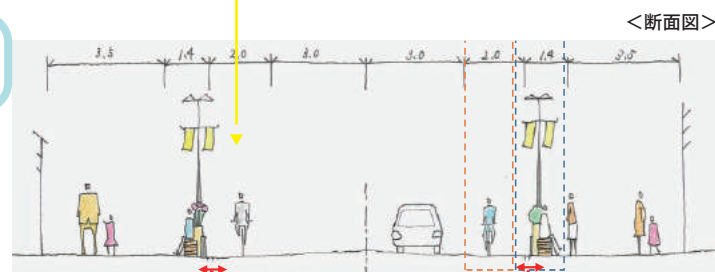
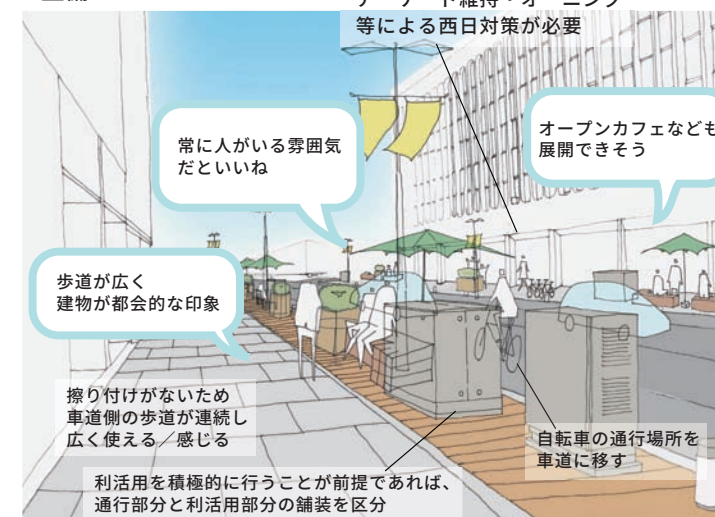
案1に加え、**車道の嵩上げを行いフラットにし、段差を無くした案。**自動車出入りのためのすり付けをなくし、歩道がより広く使えます。

案3

案1に加え一部の区間で自動車の駐停車用に停車帯を確保した案。
〈例〉広小路通り

最も共感をあつめた「案2」の特徴

<整備イメージ>



- フラット化している
- ①未使用のすり付け部等が有効に活用できる
 - ②沿道の建物が変化しても対応できる

今後の検討課題

①

幅員について

全員が案2のフラット案を選び、歩道の有効面積を広く活用するポイントが支持されました。ただ、「変化のある道」をつくるために、案2を基調にしながら案3をとり入れ、「幅員の凸凹をつくる」という意見、案1をとり入れ、自転車の侵入の危険性をふせぐ、という意見もありました。また、「子ども・ママチャリがどこを走るか」「路上停車のある時や、スピードの速い自転車の危険性」等の不安がよせられ、安全のためのマナーの意識付けやルールの必要性が語られました。

自転車と歩行者の分離等安全性の確保

②-1

上品な照明

「落ち着いた雰囲気照明がいい。」「安全な明るさはほしい。」また、2つのグループから、「ボラードと照明を一体化することで、上品な演出を」という意見が出ました。

②-2

上品さの演出について

照明・舗装によるデザインに加え、「花や木陰をつくること」、「色による統一感をつくる」というアイディアが出されました。

舗装や照明、沿道も含めた上品さの演出

③

植栽の配置について

「高木による並木の景色が魅力」「足元に店の個性の出る植栽を」等、植栽の配置への意見が寄せられました。一方で高木のムクドリの被害を心配する意見もありました。

高木の管理の適正をふまえたメリハリのある配置

④

歩車道の区分けについて

「縁石で分けるのは嫌だ」、「縁石やボラードで分けるほうが安心」と相反する意見もあり、フラットの良さを生かしながら安全性や安心感のあるデザインへの要望がすくいあげられました。

フラットの良さを生かしつつ安全性を確保する

⑤

歩道の使い方について

「オープンカフェ、路上ライブペイント、移動販売」等、さまざまなアクティビティへの希望や、「ベンチや自転車置き場」の設置アイディアも出ました。

利活用に向けた体制づくりや仕組みづくり

全5回プログラム

第1回 希望と不安を分かちあおう ～魅力ある“みち・まちづくり”へ

【両通り合同開催】

日時 | 2016年8月8日(月) 19:00～21:00

場所 | 穂の国とよはし芸術劇場プラット
創造活動室 A

第3回 みちづくりの計画案を吟味しよう(1)

【水上ビル(北側)】

日時 | 10月17日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館こここ 2階 研修室 AB

【萱町通り】

日時 | 10月29日(土) 14:00～17:00

場所 | 新本町会館

第4回 みちづくりの計画案を吟味しよう(2)

【水上ビル(北側)】

日時 | 11月21日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館こここ 2階 研修室 AB

【萱町通り】

日時 | 11月28日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館こここ 2階 研修室 AB

次回はこちら
第4回!

第2回 地域の魅力を生かしたみちづくりとは

【水上ビル(北側)】

日時 | 9月4日(日) 14:00～17:00

場所 | 開発ビル6階 601会議室

【萱町通り】

日時 | 9月12日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館こここ 2階 研修室 AB

第5回 歩いて楽しい、出来事であふれる みちを育てよう

【両通り合同開催】

日時 | 2017年2月20日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館こここ 2階 スタジオ A

【アンケートより】

水上ビル(北側)

1) ワークショップに参加して

- ・より具体的な計画の可能性、方向性を感じることができたたくさんの意見が出て良かった。もう少しイメージを分かりやすくして欲しい。
- ・水上ビルの現状と課題点が以前より計画に見えてきた。とても充実した内容だった。

2) 印象的だったこと、実践したいと思ったこと

- ・再開発の完成時が完成ではなく、10年、20年後に更によくなっていく場としたい。
- ・将来を見据えたみちづくりというのは確実に必要だし実践すべきだと感じた。
- ・やっていきたいことと、実際の維持管理などとの折り合いのつけ方が難しいと感じました。

3) その他運営に関して

- ・住民参加者が少ない!! 内容そのものは大変満足です。
- ・まちの人と職員が対話できるこのような場は貴重だと思う。どちらももう少し参加者が増えると良いかと思います。

萱町

1) ワークショップに参加して

- ・みなさんいろいろな意見をお持ちで良い点、悪い点などポイントを絞りこめました。
- ・具体的なイメージが持てた。

2) まち歩きで印象的だったこと

- ・歩いてみて気づくこともありました。歩道も道路も意外と広がったです。
- ・高木による歩道のガタつき。
- ・乗入と建物位置ズレの多さ。
- ・障害物等(縁石や高木)の有無で道のイメージ(明暗とか)が結構変わることに。

3) 印象的だったこと、実践したいと思ったこと

- ・街路樹(高木)があった方がよいという意見が意外と多く、種類?など検討してみたい。
- ・フラット化された場合、空きスペースを実際にどうやって活用するか考えたい。

4) その他運営に関して

- ・もう少し女性の意見もと入れれるといいのではと思いました(ワークショップに参加してほしい)。

萱町・水上ビル ストリートデザインワークショップ ふり返し通信 vol.03

発行日: 2016年11月18日

発行: 豊橋市都市計画部 まちなか活性課 (TEL / 0532-55-8102 E-mail / machinaka@city.toyohashi.lg.jp)

協力: 大日本コンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊

